

## 湯殿山山行報告



**【山行日】** 2017年 2月 26(日) 快晴

**【集合】** 岩舟支所P AM 7:00

**【費用】** マイカー1台 : 500円

**【メンバー】** CL:鈴木、石田、大西、鶴見、  
福田、藤原、渡辺

**【コースタイム】**岩舟支所 P7:00=彦谷自治会館

P7:45/8:05~東登山口 8:20~雨沼 9:00/9:05~

栗谷分岐 9:50~湯殿山 10:40/10:50~学校林上鉄

塔 11:10/11:50~西登山口 12:25/12:35=

アグリタウン 13:10/13:25=岩舟支所 P14:00

昨日は雪の安達太良山を登ったので、今日は近郊の湯殿山へ陽だまりハイクを計画した。いつもの彦谷自治会館Pに車を止めさせてもらい、会館裏のトイレを借りて出発の準備をする。ストレッチを済ませて出発し、川を渡った先の十字路を左に行くが、十字路に道標があり直進するよう書いてある。道標に従って直進し、登山口を探すが見当たらない。地図を確認すると東登山口の反対側に来ているようだ。東登山口から登る尾根を見上げると、大規模な太陽光発電所が設置され、そこを通らないように道標が案内していた。そのまま道標に従って進むと、右側のため池の先に湯殿山への道標があり、ここが新しい登山口になっている。沢沿いのうす暗い道を北に向かって登り、250mくらいで左に鋭角に折れ、ほんの少し登ると尾根に出て、東登山口からの道と合流する。



展望が良くベンチがあるので休憩し、衣服調整をして水分を補給する。ここからは日当たりの良い



自然林の歩きとなり、楽しく会話が弾む。

緩やかに尾根を登って行き、ベンチがあるピークが雨沼山山頂。

暖かいので汗をかき、小休止しリンゴをいただき水分を補給する。山頂の先に雨沼があり、雨が降ると沼になり動物たちが泥浴びをするヌタ場になっている。アップダウンを繰り返して登り、送電線下を通ると健脚コースと巻道に分かれ、今回は全員健脚コースを登る。岩場の急登で登りはきついが、岩を登る練習になるので楽しそう。

登り上がったピークが350. 9m峰で、ここから岩尾根を進むと祠があり、羽黒山、黒谷湯殿山、月

山と続き、最後に大きな祠が祀られた彦谷湯殿山に着く。



祠の脇に四角く囲ったベンチとテーブルがあり、ここで休憩してコーヒータイムとする。

風も無く穏やかな天気で、日光土産の饅頭とT見さんお手製のチョコ入り蒸しパンをいただきのんびり過ごす。

祠の前で記念写真を撮り、西登山口に向かって下山する。山頂から西の尾根を進み、少し先で石尊山への道を右に分け尾根を進むと本日の最高峰361m峰に着く。ここからは急な下りとなり、植林帯の登山道を下って行く。最後の急な坂

を下り切った鞍部が学校林上の分岐で、ベンチがあるが植林帯で日差しが無い。少し登った送電塔まで行き、ランチタイムとする。本日の山ご飯は、焼きそばとお稲荷さんにほうれん草とベーコンのスープと超豪華。煮タマゴや大根の浅漬けも並び、食べ切れない程の御馳走。少し食べ過ぎたが、ここからは緩やかに下るのできつくない。相変わらずおしゃべりをしながら30分下ると電波塔がある鞍部に着き、左に下ると彦谷自治会館の駐車場に着いた。トイレを済ませ、靴を履きかえて帰路につく。途中、アグリタウンで買い物をし、いつものように大きな袋いっぱい野菜や花をゲットし、岩舟支所に予定より早く帰着出来た。

